



ろうさい病院つうしん

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

TEL:052-652-5511
FAX:052-653-3533

新年のご挨拶



病院長 吉田 純

新年明けましておめでとうございます。昨年は3月11日に東日本大震災が発生しました。千年に一度のマグニチュード9.0の地震、南北500kmの広域を襲った10mを超える津波、そして約2万人の命が奪われ、東北地区の海岸と故郷が一瞬に消えた未曾有の被害でした。全国民が恐怖と不安を抱く中、被災地の方々は混乱もなく冷静に対応されている様子がテレビで放映されると、世界中から驚きと敬意が送られて来ました。日本人である我々には日本人としての心と絆が古くから受け継がれており、それが震災と共に蘇り、全国から数多くの心のこもった暖かい支援が届けられています。そして市民参加の復旧が進められています。しかし同時に発生したレベル7の原発事故による放射能被害と風評被害は未だ解決されず、廃炉には約30年を要するといわれています。現在、原発の存続の可否、再生エネルギーへの移行を含め検討されていますが、我国を取り巻く環境はこうした自然災害、エネルギー問題の他、平成2年から続く経済金融問題、急激に進む少子高齢社会と労働力の低下、円高と産業の空洞化そして税収の低迷が進行しています。その上、財源が十分伴っていない福祉優先の政策により、すでに年金、医療、介護、福祉全体の社会保障制度が崩壊しつつあります。民主党政権では医療と介護・健康サービスの産業化を進める新成長戦略や税と社会保障の一体改革が提案されていますが、これを実現するには国民の理解と決意が必須と思われます。さらに、米国が主導する医療の自由化を含むTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加問題も浮上してきました。そこで今こそ全ての分野で叢智を結集し、東北のみならず日本の政治、経済、医療・福祉などの社会問題の本格的な復興と新規産業の開発に向け

た取り組みが必須だと指摘されています。

一方、当院におきましては昨年9月14日、愛知県知事より医療法第4条に基づく地域医療支援病院として活動する事が承認されています。そこで地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会の代表の先生方、そして消防署長、保健所長様等の行政の方々にも参加していただき、運営委員会を立ち上げました。まずは当院の診療状況や紹介患者数（月平均約880人）や逆紹介患者数（月平均約740人）等の実績報告を行うと共に、今後の地域密着型医療支援のあり方について話し合いを進めています。当院ではこれまで労災医療の他、糖尿病等の生活習慣病を中心にした勤労者医療の向上に力を入れ、健康を「取り戻す」、「守る」、「予防する」、「創る」をキーワードにどちらかと言えば病院完結型医療を行ってきました。一方、地域医療に関しては、救急・災害拠点病院として心筋梗塞、脳卒中、整形外科外傷の3本柱を中心に救急医療を充実させ、年間救急搬送患者数は3,500人、入院率は22%に達しています。さらに現在、“脳卒中”、“大腿骨頸部骨折”、そして“がん”の連携パスに基づいた地域医療連携を進めています。また呼吸器疾患、消化器疾患、腎臓疾患についても病々連携、病診連携体制を構築し、また薬局や歯科医院との連携、在宅医療や介護そして高齢者や認知症患者の健康管理についても、かかりつけ医や看護師、介護士、福祉士等の関係者との連携について検討し、医療に加えて介護、福祉の情報共有に基づいた生活の中での新しい社会保障制度の充実に貢献していきたいと思っています。関係者の皆様方にはご協力とご指導の程よろしく申し上げます。

最後になりましたが、本年も先生方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます



副院長 小林 建仁

先生方には日頃より地域医療連携室を通じて、多大なご支援をいただき深く感謝しております。紹介患者数は現在毎月平均約880名と前年より約70名（8%）増えています。また当院からの逆紹介患者数は、Uターン、Jターンを含めて毎月平均約740名とこちらも前年より約90名（12%）増えており、いずれも年々増加傾向にあります。こうした先生方の日常的なご支援により、地域医療支援病院指定要件のうち、最もハードルが高かった紹介率40%以上、逆紹介率60%以上の要件をクリアすることができ、その結果当院は平成23年9月に愛知県より『地域医療支援病院』として承認されました。

患者さんには地域にかかりつけ医を持ってもらうよう継続的に説明してまいります。かかりつけ医の先生方からは急性期医療の必要な患者さんを紹介していただき、紹介された患者さんは今までと同様に、当院で

積極的に受け入れてまいります。また急性期の治療が終了し病状が安定した患者さんはかかりつけ医の先生方のもとに逆紹介し、引き続きフォローアップしていただく。この紹介、逆紹介を通してお互いの連携を図りながら、患者さんの健康管理を切れ目なくきめ細かく行なっていきたいと思っています。これが地域医療支援病院としての当院の最大の責務である、と考えています。

その他、医療機器の共同使用や、開放病床を利用した共同診療など、幅広く当院の施設を有効に活用していただければ幸甚に存じます。

本年もどうぞよろしくご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

副院長 糖尿病・内分泌内科部長 佐野 隆久



新年明けましておめでとうございます。
旧年中には先生方には病診連携・患者診療
など当院の種々の医療活動に日々ご協力い
ただき誠にありがとうございました。

本院は昨年度に病院機能評価機構の
Ver.6.0に認定されました。また愛知県がん
診療拠点病院にも指定されました。これか
ら関係各位の皆様の一ズにお答えでき
るように病院のレベルの向上に努めてま
いります。

また昨年は3月11日の東日本大震災や夏
の台風12号、15号により日本の各所が大被
害を被りました。本院も労働者健康福祉機
構の要請に応じ宮城県に医療チームを派遣
し医療活動を行いました。病院と地域・病
院と人・人と人との「絆」の重要性を再認
識いたしました年でもありました。これからも
本院は関係各位の皆様との協力関係をより

緊密にして災害に強い病院を目指してゆく
だけでなく、地域の行政の皆様・地域の医
療関係者の皆様・地域の住民の皆様との
「絆」を大切にする病院を目指してゆきま
すのでご指導・ご鞭撻よろしく願いたし
ます。

本年の皆様のみますのご活躍・ご健康
を祈念いたします。

連携室だより

病診連携セミナー・意見交換会のお知らせ

平成23年度病診連携セミナーを下記のとおり開催いたします。

セミナー後、ささやかではありますが、意見交換会をご用意しております。

登録医の先生方との貴重な懇談の機会となり、日頃の病診連携についてのご意見をいただければ幸いです。

開催日時：平成24年2月4日（土）
午後5時30分～

講演 1：「認知症について」

演 者：榊原 敏正 神経内科部長

講演 2：「認知症の治療と介護について」

演 者：上條 美樹子

神経内科・女性診療科部長

会 場：ローズコートホテル

名古屋市中区大須4丁目9-60

セミナー 3階「アップローズ」

意見交換会 地下1階「フローラ」

*日本医師会生涯教育単位の認定セミナーです。

土曜日、日曜日のMRI撮影を実施しています。

勤労者の方など、土曜日・日曜日しか来院出来ない方のために、当院では土曜日・日曜日にMRI撮影を実施しています。

ぜひご利用ください。

【ご予約は簡単です】

まずは、地域医療連携室までご連絡ください。

☎ : 052-652-5950

(平日 8:15~19:30まで)

FAX : 052-652-5716

(24時間対応)

お電話いただければ、すぐに仮予約いたします。

*撮影は単純撮影のみとなります。

【検査当日】

直接MRI検査室にお越しください。

検査時間は30分程度です。(撮影部位により前後します。)

【検査結果について】

検査結果は、約2日程度で送付いたします。

画像データは後日連携室よりお送りいたします。

医師交代

☆採用 (平成23年12月16日付)
服部 健一 脳神経外科部長

☆採用 (平成24年1月1日付)
増田 裕子 皮膚科医師

☆辞職 (平成23年12月15日付)
佐原 佳之 脳神経外科部長

☆辞職 (平成23年12月31日付)
天野 哲也 循環器内科部長
柴田 耕治 外科医師
野坂 和外 産婦人科医師

当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみを分かち合い、健康で潤いある生活を送れるよう職員一同努めます。

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室 (平日 8:15~19:30)

052-652-5950 (TEL)

052-652-5716 (FAX)

室 長：小林 建仁 (副院長)

佐野 隆久 (副院長)

事務担当：今関 信夫・内藤 遵子・金井 久実